



# 静岡市 いきもの 散歩マップ

## 浜石岳コース

### しょくぶつ

- ノアザミ** 5~8月に紫色の花を咲かせます。花にきた虫に花粉を運ばせるため、花に触ると花粉が出ます。葉にとげがあります。
- ヤマユリ** 山地にみられるユリの仲間。7~8月に香りの強い大きな白い花を咲かせます。
- ヒヨドリバナ** ヒヨドリが山から下りてきて鳴くところに花が咲くことからこの名前がつけました。8~11月に白い花を咲かせます。
- タマアジサイ** 小さな木で、山地の谷すじや湿ったところに見られます。初夏~夏に花を咲かせます。
- タムラソウ** キクの仲間。山地の草地に生えています。9~10月にアザミ類のような赤紫色の花を咲かせます。
- カワラナデシコ** 河原、海岸の砂浜、草地に生えています。7~10月にあわい紅色~もも色の花を咲かせます。
- ヤマツツジ** ツツジの仲間。4~5月に淡赤色の花を咲かせます。主に山地の林内や林縁に生えています。
- ツリガネニンジン** キキョウの仲間。草地に生えています。8~10月にうすい青紫色のつりがね型の花を咲かせます。
- ツルリンドウ** 茎がつる状になるリンドウの仲間。山地の林の中に生えています。8~9月に紫色をおびた白色の花を咲かせます。
- コマツナギ** 小さな木で、道ばたによく生えています。7~9月に赤紫色の花を咲かせます。
- アカショウマ** 山地の林の中やそのまわりに生えています。5~7月に白く小さな花をたくさん咲かせます。
- テイカカズラ** つる植物で、はりつきながら、大きな木の先まで達します。5~6月に白色の花を咲かせます。
- リンドウ** 明るい林の中や林のまわりなど、陽当たりのよいところに見られます。10~11月に青紫色の花を咲かせます。
- ミヤマキケマン** ケシの仲間。谷すじに生えています。4~5月に黄色の花を咲かせます。
- コアジサイ** 山地の明るい林の中に育ちます。6~7月に淡青色の花を咲かせます。アジサイと違って飾り花であるガクがありません。
- ニシキウツギ** 小さな木で、5~6月に白色の花を咲かせます。花はやがてうすい紅色に変わります。

**アクセス情報** JR由比駅から車で30分、または徒歩1時間30分

浜石岳野外活動センターまでの公共の交通機関はありません。  
【車でアクセス】  
(JR 由比駅から約6km、20分)  
1. 駅前の県道 370 号線を蒲原方面に進み、約 500mのところで左折。  
2. 約75m進み、県道 396 号線を右折。  
3. 約 350m進み、2 つ目の信号直前を左折し、浜石岳方面へ向かう。  
4. 道なりに約 2.5km 進むと、浜石岳野外活動センターに到着。

- 緊急連絡先**
- 静岡県救急医療情報センター TEL&FAX: 0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
  - 消防 119 番
  - 警察 110 番

- 注意事項**
- ハイキングでの安全は自己責任をお願いします。季節に合わせた服装・水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
  - 里山には、ハチやヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
  - コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹・花・山菜などを無断で取らないでください。
  - 動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク  
 発行者：静岡市清流の都創造課  
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号  
 TEL: 054-221-1357 FAX: 054-205-2666  
 制作年：平成 26 年 2 月

### とり・どうぶつ

- ヒガラ** 全長10~13cmで、背と頭は黒く腹は黄褐色です。「ツビチ、ツビチ」または、「チヨビ、チヨビ」と鳴きます。
- トビ** 全長 60 cm くらいのタカの仲間です。トンビとも呼ばれ、輪を描きながら空高く飛びます。「ヒーヒョロロロ」と鳴きます。
- シジュウカラ** 全長 15 cm くらいで、背と頭のほかに胸のまん中も黒くなります。山地から里や人家まわりに1年中見られます。
- アオバト** 全長 33 cm 程の黄緑色をしたハトの仲間です。「アーオ、アーオ」と物悲しい声で鳴きます。
- エナガ** スズメより小さい鳥で、林や森などに住み、チーチー、ジュリリ、ジュリリと鳴きます。冬は群れて移動します。
- ソウシチョウ** **特** 特定外来生物 スズメ大の外來生物で、姿も声もいのですが、日本の鳥が似ていたり、問題となっていて、冬は群れて移動します。
- ノビタキ** 全長13cmくらいで、本州中部では春・秋の渡りの時期に見られます。「ヒーヒョーヒョロリ」と澄んだ声でさえずります。
- ガビチョウ** **特** ムクドリ大の外來生物で、主に雑木林に住んでいます。きれいな声ですが耳障りなくらい大きな声で鳴きます。

- ジムグリ** 全長70cm~100cmくらいで、赤みがかった茶褐色のヘビです。小型のネズミを餌とし、よく地中に潜るので、この名がつけました。
- タゴガエル** 体長 4 ~ 5 cm くらいのアカガエルの仲間。沢や水の湧き出している崖などで卵を産みます。
- ニホンカナヘビ** 全長 20 cm くらいで、山地から人家まわりにすんでいるのでよく見かけられます。小さな虫やクモなどを餌にします。
- アズマヒキガエル** 日本在来のカエルの中で大型で、体長 9 ~ 15 cm となります。繁殖期には雄は小さく「クッククック」と鳴きます。

### むし

- クロヒカゲ** やや小型のジャノメチョウの仲間。低山地から山地にすみ、成虫は5~9月に見られます。
- コツバメ** 小さなシジミチョウの仲間。雑木林のまわりをすばやく飛びまわります。成虫は3~4月にだけ見られる早春のチョウです。
- コジャノメ** はねの裏の帯が紫色をしているのが特徴で、暗い森の中に見えます。成虫は5~9月に見られます。
- ミドリヒョウモン** 6~8cmくらいのチョウで、低山地~山地の林のまわりなどで見られ、初夏は羽化し、真夏は眠り、秋に再び現れます。
- アカタテハ** 中型のチョウで、山地から人里まで広くすんでいます。成虫は年数回発生し、成虫で越冬します。
- アサギマダラ** 大型のチョウで、フワフワと飛び、春に南から北の山地へ、夏に北から南の低地へ2世代で移動します。
- イチモンジチョウ** 中型のチョウで、平地~山地の林や谷沿いにすんでいます。成虫は5~9月に見られます。
- キアゲハ** はねを広げると10cmを超える大型のチョウで、ナミアゲハより黄色みが強く、はねのつば根が黒ずんでいます。山の頂上に集まります。
- モンキチョウ** 堤防やレンゲ畑でよく見かけ、幼虫はクローバーなどのマメの仲間を食べます。成虫は3~11月に4~5回発生します。
- エダナナフシ** 林や林のまわりで見られる触角の長いナナフシの仲間。6~12月に見られます。
- カクムネベニボタル** 体長 1 cm くらいで、成虫は3~8月に発生します。この仲間の多くは、さやばねが紅色のため、ベニボタルと呼ばれています。
- ラミーカミキリ** 体長 1 ~ 2 cm のカミキリムシで、成虫は5~8月に発生します。薄青色と黒色にきれいに色分けされています。

メモ

しずおか みんなの  
しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう 検索

静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!!(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)